

小学校 低 学年<1ー(15)> ※1ー14と同時に指導も可能(以下の※印を参照)

|        |   |        |                             |        |                |        |     |
|--------|---|--------|-----------------------------|--------|----------------|--------|-----|
| 学<br>年 | 1年  | 時<br>間 | 短学活(朝の会)で<br>「じしんがおさまったら」1年 | 時<br>期 | 9月上旬<br>避難訓練当日 | 時<br>数 | 15分 |
| 目<br>標 | 地震の揺れがおさまった後、身近にいる先生や大人の指示に従って安全に行動することができるようにする。                     |        |                             |        |                |        |     |
| 資<br>料 | スライド(文部科学省・防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3)低学年・地震①「地しんがきた!」地震②「地しんがおさまったら」) |        |                             |        |                |        |     |

- ※ 1ー14と1ー15を同時に指導する場合(避難訓練の事前指導として一連の行動指導の場合など)
- (流れ)1-14の導入、1-14・1-15の展開(海・山の近くを除く)、1-14・1-15のまとめ
  - 1ー14・1ー15の海・山の近くにいる場合の部分の部分を次回に短学活で指導することとする。

展開

|             | 学習活動と内容<br>主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)  | 指導上の留意点<br>支援(○) 評価(☆)   |
|-------------|--|--|
| 導<br>入      | 1 「じしんがきた!」1年の学習を思い出す。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「地しんが来た」のスライド2～5を提示</div><br>◇いろいろな場所で地震が起こったとき、みなさんが自分の身を守るためにとった方がいい行動を覚えていますか。<br><教室、廊下、校庭、体育館、自分の家、外>  | ○前回の学習内容(学活「じしんがきた!」1年)を思い出させ、いろいろな場所で地震から自分の身を守った後の行動について学習することを知らせる。   |
| 展<br>開      | 2 地震から身を守った後のことを考える。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「地震がおさまったら」のスライド1～2を提示</div><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">◇地震のゆれがおさまったら、次はどう行動すればいいでしょう。</div><br><教室で><br>・学校では先生の言われることを聞いて動く(避難)。<br><自分の家で><br>・割れた物等で足をけがしないようはきもの等をはき、頭を保護して外に出て近くの公園などに避難する<br><帰り道で><br>・声を掛け合い、広い公園などに避難する。<br>・困ったら近くの大人に助けを求める。 | ○避難時の約束「お・は・し・も」を指導する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">(お)さない、(は)しらない、(し)やべらない、(も)どらない。</div><br>学校で統一する。(お・か・し・も)や(お・は・し・か)の場合もある。<br>○地震はまた起きるかもしれない。大きな揺れがおさまっても危険な場所には近づかないこと。<br>○海や山の近くの場合は、1ー14で指導しているが、再度教師で押さえておく。(釜石の奇跡)<br>☆避難時の約束「お・は・し・も」が理解できたか。<br>☆地震が収まった後も危険なことや注意しなければならないことがあることが理解できたか。 |
| ま<br>と<br>め | 3 地震がおさまった後の行動で大切なことを確認する。<br>◇地震がおさまった後、どんなことが大切か考えてみましょう。  | ○余震に対する注意や危険なところには近づかないことを指導する。<br>○落ち着いて避難、整列、人数確認(学校の場合)<br>☆地震がおさまった後でも安全に行動する姿勢が身についたか。  |

|                |  |
|----------------|--|
| 関連する<br>教科・領域等 | (生活)がっこうたんけん(5月)、こうていたんけん(5月)、わたしのつうがくろ(6月)<br>(学級活動)「じしんがきた!」1年(9月)<br>(学校行事)避難訓練(地震)(9月) |
| 協力団体           |  |